

## 紙飛行機通信

香川大学 教職大学院 ニュースレター

4



### 小さくてもキラリと光る教職大学院をめざして！

教職大学院 2年目の今年も残り3か月となりました。今年度は、第1期生のフォローアップ・プログラムも展開され、夏の教職実践研究交流会や冬の香川の教育づくり発表会で修了後の成果発表を実施しています。大学での授業以外にも、様々な実習や行事等あつという間に時が過ぎ、桜の下で集合写真を撮ったことが懐かしく思い出されます。修了生も各々の立場で奮闘しているようです。これからも修了生を、そして学校をサポートしていきます。



## From Teaching Staff

## 教員の声

### 温故知新

授業力開発コース 教授

野崎 武司

教職大学院授業力開発コースの担当となるにあたり、いわゆる今時の教育論に精通していなければならないという切迫感がありました。「主体的・対話的で深い学び」などの文献を読みあさり、授業に生かす努力をしてきました。一方で実務家教員である田崎先生や齋藤先生は、「古典を読め」と大学院生に指導します。先々で必ず役に立つからと。正直耳赤でした。本来は研究者教員がそれを言うはずです。元来齋藤喜博など昭和の教育実践を好んでいた私は、彼らがブルーム・タキノミーをとくに批判していたこと、それゆえ生きた実践を展開していたことを再確認できました。温故知新の中で、教科内容と資質・能力をつなぐ学習活動が生まれることを支えていきたいと願っています。

### 子どもと共に歩んだ日々

教職大学院実務家教員・附属高松小学校教諭

橘 慎二郎

教職大学院の院生と共に歩む1年間の学級経営を通して、私自身、教員としての原点を見つめ直すことができたように思います。それぞれ個性の違う子どもたちをどう生かし、どう束ねるのか。本当の愛情と誠実さとは何なのか。単に知識や指導技術だけでは語れない、人と人とのつながり方について改めて考えることができました。実習の最終日、子どもたちの企画のもと、実習生とのお別れ会が催されました。全員の口から一年間の思い出と感謝の言葉が語られ、最後は歌のプレゼント。そして涙、涙、涙…。時には迷い、悩みながらも、子どもたち一人一人と向き合い続けてきたことが、このような深い思い合いにつながったのだと思います。実習生の、これからの活躍を心からお祈りしています。

### 教職大学院の実習に関わって

教職大学院実務家教員・附属坂出小学校教諭

清水 顕人

学部生の実習期間中に、大学院生も一緒に実習を行いました。その実習の目的の一つは、教育実習の担当教員が、学部生にどのように接しているのかを学ぶことでした。そこで、同じ学級に配属となった学部生の授業づくりをサポートするようお願いしました。

その院生は、初めて授業を行う3年生に優しく声をかけて授業づくりを支援し、経験のある4年生には授業後の討議で改善点を指摘しました。そして、院生自身も授業を行い、授業づくりの大変さを学部生に示してくれました。大学院での専門的な学びを生かし、チームの柱となって仲間と共に授業をつくっていく姿。そんな院生の姿を見ることができて、温かい気持ちになりました。

## 短期履修学生制度(1年間で修了)とフォローアップ・プログラム

教職経験5年以上で、県教育委員会からの推薦があり、審査によって認められた方は、所定のプログラムを実践することで、1年間の履修で大学院を修了することができます。経済的負担の軽減、学校現場を離れる期間の短縮など、現職の先生方が学びやすい環境を整えています。修了後も、大学教員が学校を訪問し、学校課題の解決のために「学び続ける教員」の実践や校内研修等をサポートします。そして、修了後の学校での実践について「フォローアップ・プログラム」の学びを発表します。

平成29年12月27日の「香川の教育づくり」では、下記の内容で修了生が発表します。場所はアイレックス香川の和室、時間は午前中の予定です。

- ▶ ふり返りの共有化と「学級づくり」「授業づくり」
- ▶ 小学校における特別支援教育コーディネーターの役割と機能の在り方について
- ▶ 特別支援学校小学部における小集団SSTの取り組み
- ▶ 好ましい人間関係を育む学級経営・道徳教育の組織的な取り組み -アセスを活用した適切な児童理解と支援-
- ▶ 「聴き方」指導のPDCAサイクルと児童の聴く力の変容

特別支援教育コーディネーターコースでは、特別支援教室「すばる」において特別支援教育指導実習を行っています。大学院のときに「すばる」実習を経験し、現在は「すばる」の相談指導員をされている徳永先生に、お話をうかがいました。

特別支援教室「すばる」での  
実習を経験して

特別支援教室「すばる」相談指導員  
徳永千恵子

(特別支援教育コーディネーター専修  
平成22年度修了)



「すばる」実習を通して、子ども理解のためのアセスメントを行い、その子にはどのような指導が必要か、その子にあった教材は何かを考えて指導するようになり、自分の意識が大きく変わりました。大学院修了後は、中学校の特別支援教育コーディネーターとして、通常の学級の中で困っている生徒に気づけるようになり、「この子にはどんな支援が必要だろうか」「担任の先生にこちらから声をかけてみよう」と自分から働きかけて、自分が学んだことを少しでも伝えたいと、以前より担任と話す機会が増えたように思います。

また、自分だけで判断することが難しい場合には大学の先生に相談して、実習でお世話になった病院や関係機関につなぐことができ、大学院のときのネットワークが学校現場でとても役に立ちました。管理職の理解もあり、特別支援教育コーディネーターとして学校に戻れたことによって、大学院で学んだことを生かすことができましたと思います。

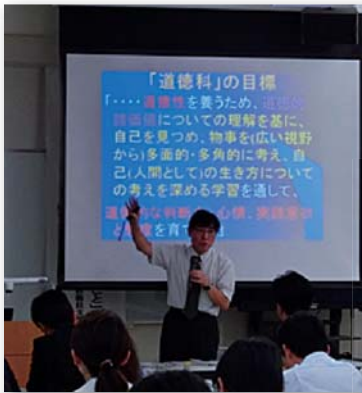
今は「すばる」の相談指導員として、さらに学びを深めたいと思っています。

Moral Education Laboratory

道徳ラボ

かがわ道徳ラボ研修会Ⅱ(9月30日)、Ⅲ(10月28日)、Ⅳ(12月9日)に大勢の皆様に参加していただき、無事に終了することができました。毎回、会場が満席に近い状態で実施できましたことに、先生方の教科化への期待と不安を痛感しました。

特に、今年度は「知りたい・聞きたいに応える道徳研修」として、7月の公開講座1・2から10月末のかがわ道徳ラボ研修会Ⅲまで、5回全てにおいて「道徳何でもQ&A」を設定して参加者の悩みや質問等を受けて、みんなで考える場づくりを意識して実施してきました。教科化全面実施に向けて、大変有意義な研修会であったと多くの声をいただきました。本当に有難うございました。



かがわ道徳ラボ研修会Ⅱ  
講師 柴原弘志 先生

かがわ道徳ラボ研修会Ⅲ  
講師 鈴木賢一 先生



かがわ道徳ラボ研修会Ⅳ  
講師 澤田浩一 先生

かがわ道徳ラボ研修会Ⅳ  
対談 (右) 横山利弘 先生  
(左) 本学・七條正典



今後の主な行事予定

大学院入試

平成30年度入学の教職大学院の学力検査日は、下記の通りです。詳細や募集要項等は香川大学教育学部HPに掲載しています。

B日程：平成30年1月27日(土)、C日程：平成30年3月3日(土)

教職実践研究フォーラム

平成30年3月4日(日)に香川大学教育学部幸町北キャンパスにおいて、本年度教職大学院生の研究実践の取組について発表する「教職実践研究フォーラム」を予定しています。

詳しくは、香川大学教職大学院のHPでお知らせします。